

特集

Structural Heart Disease インターベンション

—最新のエビデンス,
治療の実際と今後の展望

企画：林田健太郎（慶應義塾大学医学部循環器内科）

I. 総論

総論

林田健太郎

II. TAVI

AS 患者における適切な治療選択とピットフォール
馬原啓太郎

中等度—低リスク患者における TAVI vs. SAVR
渡邊雄介

二尖弁に対する TAVI
山中 太

冠動脈疾患合併例に対する TAVI
長沼 亨

腎機能障害合併例に対する TAVI
白井伸一

TAVI と frailty
山本真功

TAVI 術後 CT と至適抗血栓療法
柳澤 亮

TAVI と費用対効果
坂巻弘之

III. MitraClip

これまでのエビデンスと現在進行中のトライアル
鶴田ひかる

functional MR に対する MitraClip の適応と
治療の実際
松本 崇

degenerative MR に対する MitraClip の適応と
治療の実際
天木 誠

IV. 先天性, その他

ASD/VSD/PDA closure 治療の適応と実際
原 英彦

AMI における VSP 閉鎖
これまでのエビデンスと治療の実際
多田憲生

BPA 治療の適応と実際
松原広己

PTSMA 治療の適応と実際
高見澤 格

PVL closure 治療の適応と実際
有田武史

V. 新しいインターベンション

PFO closure
赤木禎治

左心耳閉鎖デバイス
中島祥文

腎動脈アブレーション
東森亮博

僧帽弁, 三尖弁に対する新しいカテーテル治療
大野洋平